

POINT

## 予算審査特別委員会って？

⇒次年度予算（今回は令和2年度予算）案の審議について、本会議以外場でより詳しく審査・調査するための特別の委員会。審議は主に、予算審査特別委員会委員が市に対して質疑する方法で行われます。

3月12日、13日に行われた予算審査特別委員会では、令和2年度富士宮市一般会計予算などについて審議が行われました。

その中で（仮称）郷土史博物館検討事業予算（基本構想策定委託料など計572万円）の内容※について特に深い審議が行われました。今回は主な質疑応答内容を抜粋し皆様にお伝えします。

※富士宮市民の歴史、民俗等を次世代に継承し、市民の教養の向上に寄与するため、資料の収集・保管・保全及び展示、調査研究、来館者の学習等に資する活動を行う拠点としての（仮称）富士宮市立郷土史博物館。

議  
会

Q（仮称）郷土史博物館の基本方針、基本構想、基本計画の定義をどのように考えていますか？

Q 建設候補地は、白糸自然公園と富士山さくらの園以外にどこか考えていますか？

Q 新築案以外の、併設案、改築案、既存施設活用案として、具体的にどのような施設を想定していますか？

Q 市役所の中で候補地や方針を決めるべきではないでしょうか？専門業者には候補地や規模は選べないと思いますがいかがでしょうか？

Q 富士宮市の歴史・文化の継承にとどまらず、観光施設としての価値を創造できませんか？

Q 市と専門家間で十分な検討ができていない中で、完成年度が決まったスケジュールありきの進め方に問題があるのではないのでしょうか？

このような質疑の結果、委員（議員）は大きく2つの考え方に分かれました。



（仮称）郷土史博物館検討事業予算（572万円）は、令和2年度予算では白紙にすべし。社会状況や市全体事業の優先順位などを総合的に考え、検討事業を急ぐ必要はない。しっかり議論を重ね皆の理解を得ていきましょう。



（仮称）郷土史博物館検討事業予算（572万円）を含む、令和2年度予算に賛成する。ただし、検討事業を進めるに当たり、幅広く意見を取り入れること、また、社会情勢に柔軟に対応し建設ありきの事業にしないこと（附帯決議）。

回答